



岡山から、世界のプラスチックごみを減らしましょう

国内・県内の取組

プラスチックスマート(環境省)

環境省が推進する“プラスチックとの賢い付き合い方”を進め、広める活動・取組です。「海洋プラスチックごみ問題」の解決に向けて、個人・企業・団体・行政が、それぞれの立場でできる取組を行いプラスチックと賢く付き合っていくことが重要です。



プラスチックスマート(環境省)

ごみ拾いSNS ピリカ

世界85か国以上で利用されているごみ拾いポータルSNS。ごみを拾って写真を撮るだけ、ピリカを使えば誰でも気軽にごみ拾い活動に参加できます!

岡山県内のごみ拾いを「見える化」するウェブページはコチラ



晴れの国クリーンアップおかやま

新機能リサイクルボックス

自動販売機横のリサイクルボックスでは、空容器以外の混入や周辺のごみ散乱が問題となっていますが、異物混入を最小化するリサイクルボックスを業界団体が開発し、県内でも岡山市内を中心に導入が広がっています。



大規模ボランティアごみ全額県が負担

45Lごみ袋50袋以上回収されるような、河川等での大規模ボランティアが回収したごみの「運搬」「処分」に係る費用について、令和5(2023)年度から全額を県が負担することになりました。



県循環型社会推進課

おかやまプラスチック3R宣言事業所の募集

岡山県では、事業者による主体的なプラスチックごみ削減の取組を促進するため、プラスチックごみの削減に取り組むことを宣言し、実践する事業所を募集しています。宣言した事業所は県HPでPRする他、のぼりなどの啓発資料を提供します。



おかやまプラスチック3R宣言事業所

瀬戸内オーシャンズX

2025年までに瀬戸内海への新たなごみの流入70%減、回収量10%以上増を目標として、瀬戸内4県(岡山、広島、香川、愛媛)と日本財団が連携して海ごみ問題解決に向けて取り組んでいます。



瀬戸内オーシャンズX

プラスチック問題と、わたしたちの生活について考える。



おかやま プラスチック スマート

岡山県 環境文化循環型社会推進課

〒700-8570 岡山県岡山市北区内山下二丁目4番6号

☎086-226-7306

お問合せ



岡山県マスコット「ももっちゃん」



この印刷には
地球にやさしい
VEGETABLE
植物系インクを
OIL INK
使用しています。

リサイクル素材(A)
この印刷は、印刷物の廃
リサイクルできます。

産業廃棄物処理税活用事業

岡山県

2050年のちぎゆうさん

日々の生活で、こんな 「おえん!! こと」 していない?

1 おえん!!

ペットボトルのごみ、
いっばいで捨てる場所がないなあ。
ゴミ箱の側に置いておこうと。



2 おいしい!!

荷物になるから、
飲み物は準備せずにでかけちゃおう!



3 おえん!!

使い捨てのコンタクトは
トイレや流しに流しちゃえ!



脱プラ生活をはじめよう

プラ素材を「エコ素材」にチェンジ!!



ガラス瓶



ホーロー



ミツロウラップ



木製のブラシ

プラの代わりに
なってくれるものを
どんどん探そう!

「つくる暮らし」で
プラパッケージ削減!

過剰包装とは
さようなら!



パンをつくる



野菜をつくる

きみから広げるエコの輪!!

こんなこともやってみよう!

- 実践 1** ポイ捨てされているごみがあったらごみ拾いしよう
- 実践 2** 友達に「プラスチック問題」について教えてあげよう
- 実践 3** 家族でできることを話し合おう
- 実践 4** 物を買う前に素材を確認してみよう

▶ プラスチックが、どうやって生まれて使い終わったらどうやって自然に還るのか懸いをめぐらせてみよう。

もっと調べてみよう!!

検索

一人ひとりの毎日の毎日のところがけが大切です。
プラスチックの一生に責任を持ちましょう!

プラスチックと
上手に付き合っ
ていこう!!





分別を徹底する

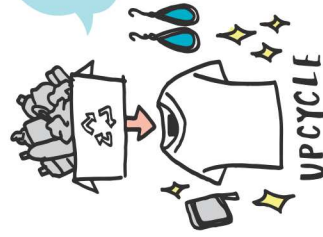


プラスチック資源の
リサイクル分別を
徹底しよう

コンタクトレンズ
の間違った
捨て方が問題に



リサイクル商品を 選ぶ



より良いものに
作り変える
Upcycleも注目
されているよ

リサイクルされた
製品を積極的に
選ぶようにしよう



ごみを持ち帰り リサイクルへ回す



外のゴミ箱だと
ごみが飛んで
いくことも...

外で出たごみは
なるべく持ち帰って、
リサイクルに回そう



再生材や再生可能資源に 切り替える

焼却時に、二酸化炭素の量に影響を与えない、
紙製品や植物由来のバイオマスプラスチックを
積極的に選ぶ。(※カーボンニュートラルという考え方)



紙やバイオマス
プラスチックに
チェンジ!!

[例] 可燃ごみ
指定収集袋

バイオプラスチック

植物うまれの
バイオマス
プラスチック

自然にかえる
生分解性
プラスチック

バイオプラスチックに対する国際的な論点

バイオマス
プラスチック

- トウモロコシやサトウキビを原料にすると食品用途と競合するなど。

生分解性
プラスチック

- 海中での分解は長期間かかり、マイクロプラスチック化する可能性がある。
- 分解されやすい素材なのでリサイクルに不向き。他の素材と混在すると阻害要因に。
- モラルハザードを引き起こし、ポイ捨てを助長するおそれがある。

4 おえん!!

使い捨てのレジ袋や
ストローやフオーク、
便利だから
いっぱいもらっちゃおう!



ごみを増やしている
だけじゃない?

5 おいしい!!

使えるけど汚くなった
プラスチック製品は捨てて
新しいきれいなものを買おうっと!



まだ使えるのに
ごみになるプラスチックは
とだけあるんだらう?

6 おいしい!!

この服、サイズが
合わなくなったから
捨てちゃおう。
※プラスチック製の衣服もあります。



まだ着られる
品質なのに...?

7 おえん!!

ちゃんとリサイクルに出したり、
地球上に優しい素材を選んでいるから
いっぱい使って捨ててもOKだよね!



バイオプラだからって
本当にポイ捨てしても
いいのかな?

こんな毎日の積み重ねが、深刻な プラスチックごみ問題に!!

2050年のちきゅうさん

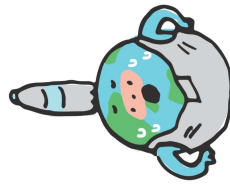
ペットボトルやレジ袋などのプラスチックごみ
が増え続け、環境問題が深刻化する2050年から、
問題を食い止めるためにやってきましたよ。

解決方法のヒントは「P.8~P.11」へ!!

からできるコト。

つくられすぎ、
すてられすぎ!!

今、「プラスチック問題」が

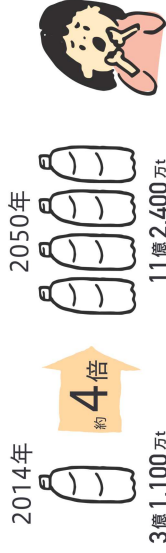


わたしたちの生活を支える、欠かせない存在になっているプラスチック。
便利な素材だから輸送燃料の削減、医療分野への安全衛生面の向上、
日持ちしない食品の寿命延長など、生活に様々な恩恵をもたらしてくれました。
でも、**大量消費**される一方で、プラスチックが**環境に与える影響**が大きき問題になっています!



✓ **つくられすぎ問題** **安くて便利、大量生産できる!!**

生産量は世界的にも増え続けており、
2050年には今の**4倍**の量になると予想されています。



プラスチックの長所が
環境問題に!

- 安い丈夫 ⇨ 大量生産・大量廃棄
- 軽い ⇨ 飛ばされやすい
- さびない ⇨ 自然に分解されず環境問題に
- くさらない



出典：「The New Plastics Economy」(2016年エレン・マッカーサー財団)

▶ わたしたちが**意識せず**に**プラスチックを消費しているから、生産量は増える一方...**



容器・包装を見直す

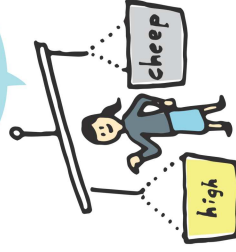
パッケージフリーショップを利用したり、
過剰包装を避けた買い物をしよう!



**長く使える
ものを買う**

服や家具などを買うときは、
クオリティが高く、長く使える
ものを選ぼう

はじめから質の
良いものを選び、
長く使うことで
ごみが減らせます。



捨てずに譲る

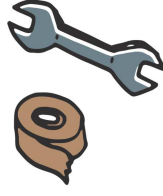
着なくなった服は
友達に譲ったり
フリーマーケットに出そう!

使ってくれる
人に渡そう!



修理して使う

ものがこわれたら、
すぐに買い替えず
まずは直せるか試してみよう。



**12. つくる責任
つかう責任**

持続可能な消費と生産の
パターンを確保する



**14. 海の豊かさを
守ろう**

海と海の資源を守り
持続可能な形で利用する

わたしたちが 今日

プラスチック問題を
くいとめるために

プラスチックを「使わない」ことを心がけ、「使った」時は処理、回収をしっかりしよう！

- リデュース ごみの量をへらす
- リサイクル 再生して利用する (最終手段)
- リユース くりかえし使う
- リニューアブル 持続可能な資源

マイボトルを持つ



マイボトル特参で割引になるカフェも増えているよ！

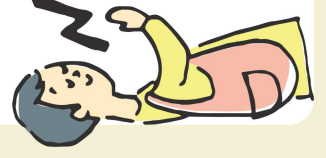
「マイボトル」や「水筒」を持ち歩き、不要なペットボトルを買わないように心がけよう

マイ容器を使う



イベントやアウトドアにはマイ皿、マイ容器を持参しよう

使い捨て用品を断る

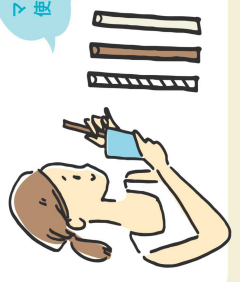


もう前に考えよう

レジ袋や使い捨てのフォーク、ストローなどは極力もらわない

別の素材にチェンジする

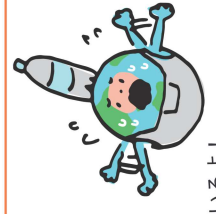
紙や木製のストローを使ってみよう！
自然界の元祖ストロー・藁(わら)ストローも試してみよう！



マイストローも使ってみよう

導入されているカフェもあるよ

地球環境にとってかなり深刻です…!!

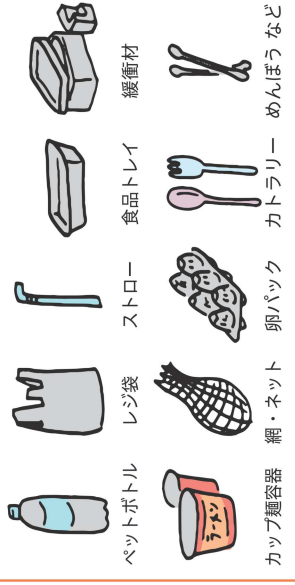


日本の人口一人あたりのプラスチック容器包装廃棄量が世界で2番目に多いんだ!!

出典：「SINGLE-USE PLASTICS」(UNEP 報告書)

すてられすぎ問題

一度でポイツ。「使い捨てプラスチック」の存在!!
身の回りは使い捨てプラスチックで溢れているよ!



世界全体のプラスチック生産量のうち最も多いのは容器包装!!



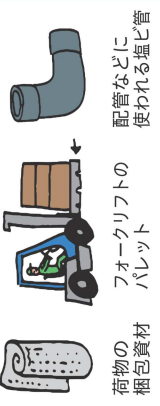
産業セクター別のプラスチック生産量 (2015)
出典：「SINGLE-USE PLASTICS」(UNEP 報告書)

でも、リサイクルされているんじゃないや…?



確かに、日本の廃プラ有効利用率(令和3年)は世界的にも高い87%!
しかし、そのうち71%は燃焼の際にエネルギーを回収するサーマルリサイクルに頼っています。*
このまま生産量が増え続けるとCO2排出量も増え、地球温暖化に。
*出典：(一社)プラスチック循環利用協会

例えば…



生活に欠かせない素材になっている

会社や工場からもプラスチックは出ています!!

そしてポイ捨てなど不適切な処分をされたプラスチックは最終的に海へ...



まちなかや山でポイ捨てされたもの、風で飛ばされたものも、川をたどり、最終的には海へ流れ着きます。これは「海洋プラスチック問題」として、世界的に問題になっています。この問題の怖いところは、一度海へ出たプラスチックはなかなか分解されず、この瞬間も増え続けていること...

1950年以降に
全世界で生産された
プラスチックの総量は **83億トン!**



そのうち、**63億トン**はごみとして**廃棄**...!

さらに...

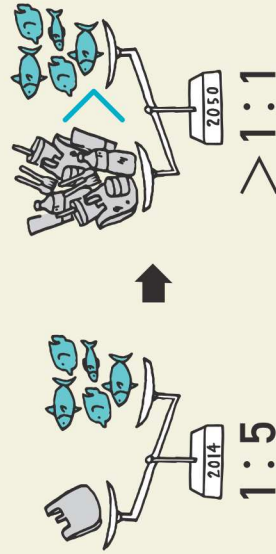
毎年新たに海に流出する
プラスチックごみは
800万トン!



ジャンボジェット(1機=約160トン)
50,000機分!!

このままでは**30年後**の海の中は、**プラスチックの重量が魚を上回る**ことが予測されるなど、地球規模での環境汚染が懸念されています!

でも、海はとも広いし...
少々大丈夫なんじゃ...?



わたしたちにはどんな「キケン」があるの？

廃棄されたネットなどで海への生き物の命が不注意に奪われ生態系に影響



船の故障や事故に つながる



漁業への被害



海の景観の悪化やごみによるけがなど



紫外線や波で劣化し細かく砕けたプラスチックのカケラなどの「マイクロプラスチック(※)」をエサと間違えて食べてしまう魚がたくさんいるよ。そんな魚を最終的には人間が食べているかも...。

更にこんな懸念も!!

プラスチックが お腹の中に!?

※マイクロプラスチックとは

5mm以下のプラスチックの細かいかけらのこと。化学物質を吸着しやすいため、有害物質を含んでいるものも少なくありません。更には回収が非常に困難です。

▶ プラスチック資源循環戦略 [3R + Renewable] (抜粋)

政府は、資源・廃棄物制約、海洋プラスチックごみ問題、地球温暖化、アジア各国による廃棄物の輸入規制等の幅広い課題に対応し持続可能な社会を実現するため、3R + Renewableを基本原則としたプラスチックの資源循環を総合的に推進するための戦略を策定・推進しています。

リデュース等

- ワンウェイプラスチックの使用削減(レジ袋有料化義務化などの「価値づけ」)
- 石油由来プラスチックの代替品開発・利用の促進

リサイクル

- プラスチック資源のわかりやすい効果的な分別回収・リサイクル
- 漁具などの陸域回収徹底
- 連携協働と全体最適化による費用最小化・資源有効利用率の最大化
- アジア禁輸措置を受けた国内資源循環体制の構築
- イノベーション促進型の公正・最適なリサイクルシステム

再生材・バイオプラスチック

- 利用ポテンシャル向上(技術革新・インフラ整備支援)
- 需要喚起策(政府率先調達<グリーン購入>、利用インセンティブ措置など)
- 循環利用のための化学物質含有情報の取扱い
- 可燃ごみ指定袋などへのバイオマスプラスチック使用
- バイオプラ導入ロードマップ・静脈システム管理との一体導入

海洋プラスチック対策

- プラスチックごみの流出による海洋汚染が生じないこと(海洋プラスチックゼロエミッション)を目指した
- ポイ捨て・不法投棄撲滅・適正処理
- 海岸漂着物の回収処理
- 海洋ごみ実態把握(モニタリング手法の高度化)
- マイクロプラスチック流出抑制対策
- 代替イノベーションの推進

出典: Geyer, R., Jambeck, J. R., & Law, K. L. (2017). Production, use, and fate of all plastics ever made. Science advances, 3(7), e1700782.

出典: The New Plastics Economy | (2016年、エレン・マッカーサー財団)